

## 平成24年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年8月10日

上場取引所 福

上場会社名 株式会社ジョイフル  
 コード番号 9942 URL <http://www.joyfull.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 穴見 陽一  
 (氏名) 小野 哲矢  
 配当支払開始予定日

TEL 097-551-7131  
 平成24年9月18日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	28,639	2.1	1,453	7.6	1,434	7.2	779	
23年12月期第2四半期	29,255	0.2	1,573	40.5	1,546	43.4	221	

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 777百万円 ( %) 23年12月期第2四半期 220百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	26.52	
23年12月期第2四半期	7.53	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	26,022	12,527	48.1
23年12月期	27,320	12,043	44.1

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 12,527百万円 23年12月期 12,043百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期		10.00		10.00	20.00
24年12月期		10.00			
24年12月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,120	1.6	3,640	5.3	3,600	5.3	1,780	185.7	60.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期2Q	31,931,900 株	23年12月期	31,931,900 株
期末自己株式数	24年12月期2Q	2,522,990 株	23年12月期	2,522,944 株
期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期2Q	29,408,910 株	23年12月期2Q	29,409,135 株

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(金額表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目、その他の事項の金額については、従来千円単位で記載していましたが、前連結会計年度から百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前第2四半期連結累計期間についても百万円単位に組み替え表示しております。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) キャッシュ・フローの状況 .....	3
(4) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、「欧州債務問題」等による海外経済の不確実性や円高の影響はあるものの、復興関連需要などから国内需要が堅調に推移する中で、緩やかに持ち直しつつある状況で推移いたしました。

当外食業界においては、雇用環境が改善傾向にあるものの、所得の伸び悩みに加えて、消費税の増税等を巡る国内政治の動向もあり、消費者の生活防衛意識の一層の高まりから、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは「一番安価で、一番身近な食堂」を目標に掲げ、当社のビジネスモデルの根幹である「お値打ち感を主とした商品の提供」と「お客様視点に立ったサービスの実践」に取り組み続けてまいりました。

商品施策では、「商品開発プロセスの強化」による商品力及び提供品質の向上を軸に、お客様の消費動向を捉えながら多様化する消費者ニーズに対応した商品開発施策を推進してまいりました。

あわせて、原価コントロールの観点から昨年に引き続いて「自社工場製品比率の向上」や「食材の絞込み」を図ってまいりました。

営業施策では、近年継続的に取り組んでいる「自立した強い店長の育成」の一環から「店舗オペレーション・サービスレベルの向上」のための従業員教育に力を入れるとともに、店舗内外の環境整備のために既存店舗の改修に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は286億3千9百万円（前年同四半期比2.1%減）、営業利益は14億5千3百万円（前年同四半期比7.6%減）、経常利益は14億3千4百万円（前年同四半期比7.2%減）、四半期純利益は7億7千9百万円（前年同四半期は2億2千1百万円の四半期純損失）となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末における店舗数は、当第2四半期連結累計期間において直営1店舗及びF C 1店舗の出店、直営1店舗の退店により708店舗（直営655店舗、F C 53店舗）となりました。

また、当社は保険代理店業務等を行う特例子会社を所有しておりますが、連結業績に占める割合が極めて軽微なため、セグメント情報の記載を省略しております。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ) 資産の部

当第2四半期連結会計期間末の総資産は260億2千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億9千7百万円の減少となりました。

これは主に有価証券の減少、減価償却費による有形固定資産の減少、原材料及び貯蔵品の減少によるものであります。

#### ) 負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債は134億9千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億8千万円の減少となりました。

これは主にその他（未払費用）の増加、長期借入金の減少、その他（未払金）の減少、買掛金の減少、1年内償還予定の社債の減少、未払法人税等の減少によるものであります。

）純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産は125億2千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億8千3百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

（3）キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は31億9千万円（前連結会計年度末比12.2%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況については下記のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は11億1千万円（前年同四半期比10.6%増）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益14億3千4百万円、減価償却費5億6千4百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額7億4千9百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は5億3千7百万円（前年同四半期は4億4千5百万円の使用）となりました。収入の主な内訳は、定期預金の払戻による収入8億円であり、支出の主な内訳は、有形及び無形固定資産の取得による支出2億9千3百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は13億円（前年同四半期比17.1%増）となりました。主な内訳は、長期借入金の返済による支出5億9千2百万円、社債の償還による支出4億1千5百万円、配当金の支払額2億9千3百万円であります。

（4）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年12月期の連結業績予想につきましては、平成24年2月10日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正から、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,993	3,190
売掛金	148	121
有価証券	650	-
商品及び製品	311	307
原材料及び貯蔵品	989	670
その他	872	904
貸倒引当金	4	14
流動資産合計	5,961	5,180
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,595	7,242
機械装置及び運搬具(純額)	336	317
工具、器具及び備品(純額)	501	432
土地	8,078	8,078
その他(純額)	6	27
有形固定資産合計	16,518	16,098
無形固定資産	78	71
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,225	3,223
その他	1,535	1,449
投資その他の資産合計	4,761	4,672
固定資産合計	21,358	20,842
資産合計	27,320	26,022
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,095	1,600
1年内返済予定の長期借入金	1,584	1,731
1年内償還予定の社債	530	180
未払法人税等	805	638
賞与引当金	106	108
その他	3,530	3,392
流動負債合計	8,653	7,651
固定負債		
社債	65	-
長期借入金	4,700	3,960
退職給付引当金	499	515
役員退職慰労引当金	31	38
資産除去債務	1,260	1,272
その他	65	56
固定負債合計	6,623	5,843
負債合計	15,276	13,495

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,596	1,596
資本剰余金	2,390	2,390
利益剰余金	11,826	12,312
自己株式	3,771	3,771
株主資本合計	12,042	12,528
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	1
その他の包括利益累計額合計	0	1
純資産合計	12,043	12,527
負債純資産合計	27,320	26,022



(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
 【四半期連結損益計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	29,255	28,639
売上原価	10,181	9,808
売上総利益	19,074	18,831
販売費及び一般管理費	17,500	17,377
営業利益	1,573	1,453
営業外収益		
受取利息	4	3
不動産賃貸収入	25	27
その他	18	22
営業外収益合計	47	54
営業外費用		
支払利息	40	29
不動産賃貸原価	29	25
貸倒引当金繰入額	-	10
その他	4	7
営業外費用合計	74	73
経常利益	1,546	1,434
特別利益		
貸倒引当金戻入額	0	-
役員退職慰労引当金戻入額	4	-
特別利益合計	4	-
特別損失		
固定資産除却損	3	-
災害による損失	176	-
賃貸借契約解約損	0	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	805	-
特別損失合計	985	-
税金等調整前四半期純利益	565	1,434
法人税、住民税及び事業税	496	583
法人税等調整額	290	70
法人税等合計	787	654
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	221	779
四半期純利益又は四半期純損失( )	221	779

【四半期連結包括利益計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	221	779
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	2
その他の包括利益合計	1	2
四半期包括利益	220	777
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	220	777
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	565	1,434
減価償却費	599	564
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	805	-
受取利息及び受取配当金	4	3
支払利息	40	29
たな卸資産の増減額（は増加）	330	323
前払費用の増減額（は増加）	238	77
仕入債務の増減額（は減少）	577	495
未払金の増減額（は減少）	162	355
未払費用の増減額（は減少）	521	525
その他	15	55
小計	1,895	1,890
利息及び配当金の受取額	0	1
利息の支払額	41	31
法人税等の支払額	850	749
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,004	1,110
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	300	-
定期預金の払戻による収入	-	800
有形及び無形固定資産の取得による支出	191	293
その他	45	30
投資活動によるキャッシュ・フロー	445	537
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	702	592
社債の償還による支出	115	415
自己株式の取得による支出	0	0
配当金の支払額	293	293
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,111	1,300
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	552	347
現金及び現金同等物の期首残高	3,258	2,843
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,705	3,190

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。